

令和4年度事業計画書

事業運営方針

定款に示されている工学に関する教育および研究の振興、山口大学工学部への支援および連携、会員相互の交流および相互啓発をはかることを基本方針として各種事業を行っていくこととし、令和4年度の計画概要を以下に記す。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては流動的な要素があること、また、より多くの会員がイベント等に参加できるようオンライン活動のさらなる充実を図る。

I. 事業活動

I-1 工学に関する教育研究の振興ならびにこれらに関する人材育成に資する事業

1. 講演会・講習会等の開催

(1) 常盤アドバンスドレクチャー 2022「未来を切り開く技術開発」

常盤アドバンスドレクチャー実行委員会（委員長：柿本雅明、工化50）の企画のもと、山口大学工学部卒業生、在学生を対象として以下のとおり講座を年2回開催する。

2022（第1回講座）

開催日 令和4年6月11日（土曜）（令和4年度定時総会当日 15時開催予定）
開催方法 常盤工業会会館からオンライン配信（総会出席者は対面）
講師 山田陽一先生（山口大学新工学部長、電気電子工学科教授）
主催：常盤工業会 / 共催：山口大学工学部

2022（第2回講座、移動講座 in Tokyo）

開催日 令和4年10月（土曜）
開催方法 ハイブリッド形式（会場：東京、配信：東京より）
講師 常盤工業会会員
主催：常盤工業会関東常盤会 / 共催：常盤工業会、山口大学工学部

(2) 第6回山口大学工学部ホームカミングデー「卒業生講演会」

山口大学工学部主催、常盤工業会共催で以下のとおり開催する。

受講対象 山口大学工学部卒業生、在学生
開催日 令和4年11月中旬（土曜）予定
会場（開催方法） 山口大学工学部（状況によりオンラインまたはハイブリッド形式）
講演概要 未定

2. 講演会・講習会等開催に対する支援

「ちじょう IT 勉強会」の支援

「ちじょう IT 勉強会」の運営委員会（リーダー：越智 郁、知情 H27）が実施する勉強会に係る経費を助成する。勉強会の概要は以下のとおり。

受講対象 山口大学学生
開催日 令和4年11月
会場（開催方法） 山口大学工学部（状況によりオンラインまたはハイブリッド形式）
概要 初心者向け IT 系勉強会（セミナー・ワークショップ等）

3. 山口大学工学部の支援および連携事業

(1) 山口大学工学部への寄付

「常盤工業会奨学金」等の原資として寄付を行う。

(2) 山口大学工学部との連携事業

第6回山口大学工学部ホームカミングデー行事に共催で取り組み、経費の一部を負担する。

4. 工学部学生支援事業

(1) 「常盤賞」表彰

学部および博士前期課程学生の学業優秀者、課外活動優秀者を表彰し、記念品を贈呈する。表彰対象は常盤工業会正会員とし、選考は工学部が行う。

(2) 「常盤祭」支援

常盤祭実行委員会に対し、実施経費の一部を支援する。

(3) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援

工学部が実施する「常盤キャンパスワンコイン朝食事業」を工学部教育後援会・山口大学生協・常盤工業会で経費を分担して支援する。

(4) 学生の自主的活動支援

常盤工業会が学生の自主的活動プロジェクトの資金支援を行う制度を令和4年度より「ときわスマートチャレンジ」と称す。申請書の提出期限を6月末とし、7月にプロジェクト代表者との面談を行い、採択されたプロジェクトチームに資金支援を行う。

I-2 会員交流親睦および相互啓発に資する事業

1. 会誌刊行事業

会誌「常盤」冊子版、WEB版を年2回（夏号・冬号）発行する。企画・編集は、会誌「常盤」編集委員会が行う。冊子版は以下のとおり配布する。

卒業生 夏号：全会員

冬号：会費納入者

学生 夏号：全会員（帰省先） 冬号：1年生のみ（帰省先）

2. 学術文化交流振興事業

(1) 地域の留学生と日本人との交流

宇部近郊の留学生および日本人を対象とした交流行事を開催する。

(2) 対外支援・交流

① 「山口大学同窓会」の支援

理事会への出席、事業に対する協力、分担金の支出、他学部同窓会との交流を行う。

② 「宇部環境国際協力協会」の支援

法人会員として会費を支払う。

3. 会員交流事業

(1) 地域同窓会交流事業

① 情報共有（地域同窓会と本部）

本部と各地域同窓会で会員情報の共有化を図る。

②地域同窓会代表者会議の開催

工学部ホームカミングデー開催日と同日に開催し、地域同窓会相互、地域同窓会と本部役員との情報交換を行う。また、会議後の懇親会には母校教員を招待し、会員との情報交換や交流を行う。

③各地域同窓会の活動に対する支援

各地域同窓会に対し、総会開催のための通信費、交流費等の資金支援、総会案内に使用する宛名ラベルの無料提供等を行なう。

④交流活動（地域同窓会と本部、工学部）

各地域同窓会総会に本部役員が参加し、本部と地域の情報交換を行う。また大学教員へ地域同窓会総会への出席依頼をし、地域同窓会と母校との情報交換を行う。教員に対しては卒業生に地域同窓会会合出席の働きかけをしていただくことで、若い世代の会員の地域同窓会への関心を高める。

(2) 学生と卒業生との交流

①工学部ホームカミングデー

卒業生に案内を行い、学生や母校教職員との交流を促進する。

②総会および地域同窓会代表者会議

懇親会に学生を招待し、卒業生と学生の交流をはかる。

(3) 学生に対する周知案内（配布物）

①入学時

入学生に工学部を通して、会誌（前年度冬号）を配布する。

②2年次学科別オリエンテーション

常盤工業会会館の紹介として「会館のしおり」を配布する。

③卒業時

会長祝辞文および記念品を贈呈（学部卒業生のみ）する。また、住所連絡用はがき、事務局からのお願い文、リーフレット（地域同窓会紹介）、その他案内文等を配布する。

4. 常盤工業会会館の有効活用および維持管理

(1) 会館施設の有効活用

常盤工業会の活動拠点として事務局を置いている常盤工業会会館を有効活用する。

テナント事業

全7室のうち、空き室1室（前賃貸人：「1・9亭」）に「ふかの」（飲食業）入居予定（令和4年4月契約締結予定）

(2) 会館施設の維持管理

以下の改修工事およびメンテナンスを実施する。その他、会館老朽化に伴う修繕および改修は必要に応じて都度実施する。

①共通施設関係

- ・西側駐車場境界塀改修工事
- ・エアコンクリーニング

②テナント関係

- ・旧「1・9亭」ドア（3ヵ所）改修工事

II. 法人管理運営部門

1. 会員増強対策（住所把握・会費納入促進）の推進

- ①会誌、ホームページの活用
- ②新卒者に対し、学生時のメールアドレス有効期間内に常盤工業会に住所連絡をしてもらうようお願いのメールを工学部より送っていただく。

2. 会員拡大に向けての情報発信

- ①ホームページのリニューアル（スマホやタブレットに対応、内容の充実）
- ②ホームページからの情報発信
- ③可能な範囲で工学部の修学支援システムを活用させていただき、学生により細かな情報発信

3. 事業活動のあり方と常盤工業会の将来計画の検討

常盤工業会の事業活動や財政状況を見直し、中長期的視点で常盤工業会の将来計画について検討する委員会を発足し、定期的に会合を行う。

令和4年度収支予算

収支予算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位 円)

科 目	A R4年度予算	B 前年度(R3年 度) 予算額	増減(A-B)
I 事業活動収支の部			
(1) 事業活動収入			
会費収入			
年会費収入	3,300,000	4,000,000	△ 700,000
終身会費収入	43,000,000	44,000,000	△ 1,000,000
(会費収入 小計)	46,300,000	48,000,000	△ 1,700,000
会館施設貸付事業収入			
テナント家賃収入	5,472,960	5,622,960	△ 150,000
施設賃貸料収入	600,000	1,000,000	△ 400,000
雑収入	12,000	12,000	0
(会館施設貸付事業収入 小計)	6,084,960	6,634,960	△ 550,000
雑収入			
受取利息収入	5,000	5,000	0
雑収入	110,040	10,040	100,000
(雑収入 小計)	115,040	15,040	100,000
事業活動収入 合計	52,500,000	54,650,000	△ 2,150,000
(2) 事業活動支出			
① 事業費支出			
1 工学教育・人材育成事業			
講演会・講習会			
会場費	70,000	170,000	△ 100,000
支払手数料	60,000	50,000	10,000
旅費交通費	10,000	150,000	△ 140,000
助成費	100,000	200,000	△ 100,000
雑費	80,000	30,000	50,000
大学支援・連携事業			
寄付金支出	10,000,000	10,000,000	0
負担金支出	150,000	150,000	0
学生支援事業			
表彰費	250,000	280,000	△ 30,000
助成費	600,000	600,000	0
負担金支出	1,000,000	1,000,000	0
支援金支出	0	5,000,000	△ 5,000,000
(工学教育研究・人材育成 小計)	12,320,000	17,630,000	△ 5,310,000
2 会館施設貸付事業			
衛生費	200,000	289,000	△ 89,000
修繕費	2,000,000	300,000	1,700,000
水道光熱費	80,000	90,000	△ 10,000
租税公課	71,000	71,000	0
雑費	100,000	220,000	△ 120,000
(会館施設貸付事業費 小計)	2,451,000	970,000	1,481,000
3 交流事業			
(会誌刊行事業)			
印刷費	2,000,000	2,000,000	0
通信費	2,500,000	2,500,000	0
消耗品費	230,000	230,000	0
委託業務費	600,000	600,000	0
雑費	50,000	50,000	0
(学術文化交流振興事業)			
会議費	100,000	280,000	△ 180,000
助成費	0	300,000	△ 300,000
負担金支出	500,000	500,000	0
雑費	10,000	10,000	0
(地域同窓会交流事業)			
通信費	1,300,000	1,300,000	0
会議費	130,000	130,000	0
旅費交通費	2,000,000	2,000,000	0
負担金支出	350,000	350,000	0

科 目	A R4年度予算	B 前年度(R3年 度) 予算額	増減(A-B)
(会員交流事業)			
印刷費	230,000	200,000	30,000
通信費	250,000	250,000	0
記念品費	600,000	600,000	0
会議費	40,000	40,000	0
(交流事業 小計)	10,890,000	11,340,000	△ 450,000
4 共通経費			
通信費	142,800	142,800	0
機器使用料	8,316	21,924	△ 13,608
給与・手当	7,896,000	7,560,000	336,000
福利厚生費	1,302,000	1,260,000	42,000
退職給付引当金繰入	84,000		84,000
租税公課	1,365,000	1,462,500	△ 97,500
委託業務費	1,218,750	975,000	243,750
修繕費	682,500	682,500	0
損害保険料	192,855	192,900	△ 45
衛生管理費	97,500	97,500	0
消耗品費	84,000	504,000	△ 420,000
電灯電力費	780,000	780,000	0
水道光熱費	156,000	156,000	0
(共通経費 小計)	14,009,721	13,835,124	174,597
(事業費支出 合計)	39,670,721	43,775,124	△ 4,104,403
②管理費支出			
通信費	207,200	207,200	0
機器使用料	1,584	4,176	△ 2,592
支払手数料	380,000	400,000	△ 20,000
給与・手当	1,504,000	1,440,000	64,000
福利厚生費	248,000	240,000	8,000
退職給付引当金繰入	16,000		16,000
印刷費	250,000	240,000	10,000
会議費	50,000	200,000	△ 150,000
旅費交通費	500,000	1,300,000	△ 800,000
租税公課	35,000	37,500	△ 2,500
委託業務費	31,250	25,000	6,250
修繕費	17,500	17,500	0
損害保険料	4,945	5,000	△ 55
衛生管理費	2,500	2,500	0
消耗品費	16,000	96,000	△ 80,000
電灯電力費	20,000	20,000	0
水道光熱費	4,000	4,000	0
雑費	1,250,000	1,250,000	0
(管理費支出 計)	4,537,979	5,488,876	△ 950,897
経常費用 合計	44,208,700	49,264,000	△ 5,055,300
当期経常収支差額	8,291,300	5,386,000	2,905,300
II 投資及び財務収支の部			
1 投資及び財務活動収入			
① 減価償却引当預金取崩収入	0	0	0
投資及び財務活動収入 合計	0	0	0
2 投資及び財務活動支出			
① 固定資産取得支出	0	0	0
② 減価償却引当預金取得支出	2,045,082	2,184,712	△ 139,630
投資及び財務活動支出 合計	2,045,082	2,184,712	△ 139,630
投資及び財務活動収支差額	△ 2,045,082	△ 2,184,712	139,630
III 予備費支出	4,000,000	1,500,000	2,500,000
収支差額 合計	2,246,218	1,701,288	544,930
当期収支差額	2,246,218	1,701,288	544,930
前期繰越収支差額	79,602,809	77,901,521	1,701,288
次期繰越収支差額	81,849,027	79,602,809	2,246,218